

## 資 料 編

- 【資料1】 自殺対策関連施策一覧
- 【資料2】 出水市自殺対策計画策定経過
- 【資料3】 出水市自殺対策計画検討委員会名簿
- 【資料4】 出水市自殺対策計画プロジェクトチーム名簿

【資料1】自殺対策関連施策一覧（基本施策と重点施策を除く。）

1 地域におけるネットワークの強化

番号	事業名	事業概要	自殺対策の視点	担当課
1	子ども・子育て会議	子ども・子育て支援事業計画の策定や見直しなどを行うために開催する。	子ども・子育て支援事業計画の策定や見直しの中で、間接的にでも自殺対策につながるような取組について検討する。	こども課
2	青少年問題協議会	青少年問題協議会を開催する。	協議会において、青少年層の抱える問題や自殺の危機等に関する情報を共有してもらうことで、実務上の連携の基礎を築ける可能性がある。 地域の若年層の自殺実態を把握する上で、青少年に関する情報収集の機会となる可能性もある。	生涯学習課
3	虐待通告への対応	児童虐待防止対策の充実を図るために児童相談所、警察、保育園、幼稚園、学校、保健センター等の関係機関との連携を強化する。	子どもへの虐待は、家庭が困難な状況にあることを示す一つのシグナルであるため、保護者への支援を通じて問題の深刻化を防ぎ、自殺リスクの軽減にもつながり得る。 被虐待の経験は、子ども自身の自殺リスクや成長後の自殺リスクを高める要因にもなるため、子どもの自殺防止、	こども課 安心サポートセンター

			将来的な自殺リスクを抑えることにおいても、児童虐待防止は極めて重要である。	
4	養育支援訪問事業	保健センター、子育て支援室及び家庭児童相談室の3者間で情報連携を図るために連絡調整会議を月に1回開催している。	会議で取り扱う案件の中で、自殺のリスクを早期に察知し必要な機関へつなぐ等の対応を強化できる可能性がある。	こども課 安心サポートセンター 子育て支援室 健康増進課
5	青少年育成推進協議会	市民総ぐるみで青少年を育てる運動を積極的に進め、地域の連帯感を深めるために、各地区の青少年育成推進委員会長をメンバーとした市協議会を設置し、青少年の健全育成活動を推進する。	関連の会議の中で、青少年の自殺の現状と対策（生きることの包括的支援）について情報提供を行うことにより、現状と取組についての理解を深めてもらう機会となり得る。	生涯学習課

## 2 自殺対策を支える人材の育成

番号	事業名	事業概要	自殺対策の視点	担当課
1	母子・寡婦・父子会	母子寡婦福祉会の運営補助を行う。	母子寡婦福祉会は、会員相互の励まし、助け合いにより会員の福祉と厚生を図ることを目的としていることから、情報の共有等により問題の解決や自殺リスクの軽減につながる可能性がある。	こども課

2	消防職員の研修・訓練	消防、救急等の活動上必要な資機材の整備と職員の各種訓練、研修等による知識と技術の向上を図る。	消防職員研修の中で自殺未遂者への対応方法等についての講義等を設けることができれば、自殺リスクを抱えた人への支援の充実につながり得る。	消防署
---	------------	--	--	-----

### 3 住民への啓発と周知

番号	事業名	事業概要	自殺対策の視点	担当課
1	介護予防普及啓発事業	介護予防に資する基本的知識の普及啓発を図るパンフレット等の作成・配布、有識者等による講演会や相談会の開催等介護予防の普及啓発を行う。	自殺対策に関するパンフレット配布や出前講座等を行うことで、より身近なこととして取り組み、相談窓口を周知することで、速やかな情報把握につなぐことができる。	いきいき長寿課
2	子育て応援メール・アプリ管理業務	妊婦又は3歳未満の乳幼児を持つ母親及びその配偶者等を対象に胎児の成長の様子、妊娠・出産アドバイス、赤ちゃんの成長の様子、育児に関するアドバイス、市母子保健事業の案内、市からのお知らせ等のメールを配信する。	子育てに関する情報提供を行うことによって、家庭内での話題につながったりすることから、子育てに関連する悩みや自殺リスクの軽減に寄与し得ると考える。	こども課
3	人権・同和問題の啓発	あらゆる人権に対して差別のない世の中であるために、定期的に広報紙や防災行政無線により啓発を行う。	自殺等の悩み事がある市民に対して、関係機関や関係課へ案内する。	市民生活課 生涯学習課

## 4 生きることの促進要因への支援

番号	事業名	事業概要	自殺対策の視点	担当課
1	総合事業サービス	総合事業サービスを希望される方で、基本チェックリストを受け事業対象者となった方が訪問介護等のサービスを受ける。	基本、自分の身の回りのことができる方が対象であり、サービスを受けることで孤独感の解消につながると思われる。	いきいき 長寿課
2	赤ちゃんの駅設置事業	乳幼児を連れての外出中、授乳やおむつ替えなどで利用できる民間施設等を増やすことで、子育てしやすい環境づくりに寄与する。	安心して授乳やおむつ替えのできる施設があることで、乳幼児を連れての外出時、ストレスの軽減になり得る。	こども課
3	育児用品購入券事業（にこやか赤ちゃん応援券）	子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、出水市内で安心して子育てができるための環境づくりのため、にこやか赤ちゃん応援券を交付。出生時と1歳時の2回、にこやか赤ちゃん応援券1万円分、第3子以降は、5万円分交付する。にこやか赤ちゃん応援券は、市内の協力店で、「おむつ関連用品」、「授乳関連用品」、「離乳食関連用品」等の購入に利用できる。	来庁して申請をしていく中で、家庭生活における生活の困窮状況を把握できる可能性がある。	こども課
4	公園等の管理及び設置	公園等の管理事務・公園施設の維持補修に関する事務及び公園等の整備を行う。	巡回時に公園内の自殺発生箇所の重点点検を行う。	都市計画課
5	道路・河川管理	道路及び河川使用の適正化指導（ホームレスへの対応等）	ホームレスの方は自殺のリスクが高い方が少なくない。	道路河川課

			<p>様々な関係機関の職員と一緒に巡回し必要な支援を提供するなど、自殺リスクの高い層にアウトリーチするための施策としても重要である。</p>	
6	青少年補導センター事業	<p>青少年の非行防止、健全育成を図るための事業</p> <p>(1)街頭補導</p> <p>(2)電話相談窓口を設置</p> <p>(3)青少年健全育成のための広報啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補導センターだより、非行防止チラシ等</li> </ul>	<p>街中の徘徊など、一見すると「非行」と思われる行動が、実は青少年にとっての「SOS」である場合も少なくない。</p> <p>研修会等の際に、青少年の自殺の現状と対策（生きることの包括的支援）について情報提供を行うことにより、青少年向け対策の現状と取組内容について理解を深めてもらうことができる。</p>	生涯学習課
7	クレインパーク主催事業 (教育普及事業)	<p>自然について学び、親しむ博物館講座や、学校等との連携を深め、理科に興味を持つきっかけをつくるため、科学工作を中心とした講座を実施する。また、生涯学習の一環として、市民一人一人が自ら学習できるよう支援に努める。</p>	<p>自然とふれあい、生きものについて学ぶことで、自然や命のすばらしさ、大切さを感じることができる可能性がある。</p> <p>親子で参加する方が多く、家庭内での交流や親睦を深める機会となり得る。</p>	クレインパークいずみ
8	クレインパーク主催事業に係るボランティア活動 (中高生向け体験活動)	<p>中高生ボランティア（Jrスタッフ）が年間を通じて、博物館の事業に参加し、博物館や学芸員の仕事を学ぶ体験活動における活動支援を行う。</p>	<p>スタッフとして参加することで、自主性、主体性が高まる。</p> <p>中学生、高校生の世代間交流でお互いに助け合い、教え合うことで、</p>	クレインパークいずみ

			自分の長所に気づき、自己有用感や達成感を得られる可能性がある。	
9	青年の家主催事業に係るボランティア活動 (中高生向け交流活動)	中高生ボランティアが青少年を対象にした各種体験活動における活動支援を行う。	ボランティア活動を通して、互いの交流の中で「命の大切さ」などの学び合いにつながる可能性がある。	青年の家

### 5 生活困窮者を対象とした支援の充実

番号	事業名	事業概要	自殺対策の視点	担当課
1	災害救助・被災者生活再建支援	災害救助法に基づく救助（避難所の設置、応急仮設住宅の供与等）を行う。 被災者生活再建支援法に基づく支援を行う。被災直後の緊急対策や生活再建支援金を支給することにより、被災者の当面の生活支援・不安解消を図り安定した生活につなげる。	災害直後の緊急対策や生活再建支援金を支給することにより、被災者の当面の生活支援・不安解消を図り、安定した生活につながることから自殺予防に資する。	福祉課
2	法外援護・小災害見舞金支給	災害救助法及び出水市災害弔慰金の支給等に関する適用を受けるに至らない災害によるり災者に対して見舞金を支給し、その援護を図る。	緊急支援として見舞金を支給することにより、被災者の当面の生活支援・不安解消を図り、安定した生活につながることから自殺予防にも資する。	福祉課
3	災害弔慰金等、災害援護資金	出水市災害弔慰金の支給等に関する条例の適用を受けるに至らない災害によるり災者に対して弔慰金や障害見舞金を支給、また災害援護資金を貸し付けることによりその援護を図る。	緊急支援として弔慰金等を支給したり、生活の立て直しのための援護資金することにより、被災者の当面の生活支援・不安解消を図り、安定した生活につながる	福祉課

			ことから自殺予防にも資する。	
4	高等職業訓練促進給付金等事業	ひとり親家庭の父母の就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するため、看護師等の資格に係る養成訓練の受講期間の一定期間について「高等職業訓練促進給付金」を、養成訓練修了後に「高等職業訓練修了支援給付金」を支給する。	事前相談及び給付金申請時に申請者と直接面談ができる。また毎月の給付金の請求段階及び終了支援金請求段階においても、接触の機会を確保できるので、家庭の困窮の度合い等様々な自殺につながる因子、リスクを抱えた方等を把握することによって、自殺防止の支援へとつなげていくことができる可能性を含んでいる。	こども課
5	自立支援教育訓練給付金事業	ひとり親家庭の父母が自主的に行う職業能力の開発を推進するため、本自治体が指定した職業能力の開発のための講座を受講した者に対して教育訓練終了後に支給する。終了時に受講費用の60%（上限20万円）を支給する。	事前相談及び給付金申請時に申請者と直接面談ができる。最終的な給付金の請求段階においても、接触の機会を確保できるので、家庭の困窮の度合い等様々な自殺につながる因子、リスクを抱えた方等を把握することによって、自殺防止の支援へとつなげていくことができる可能性を含んでいる。	こども課
6	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	ひとり親家庭の親及びその児童が、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座（通信講座も可）を受けた場合、修了時に受講費用の2割（上限10万円）を、さらに認定試験合格後に受	事前相談及び給付金申請時に申請者と直接面談ができる。最終的な給付金の請求段階においても、接触の機会を確保できるので、家庭の困窮の度合い等様々な自	こども課



		講費用の4割（計6割、上限15万）を支給する。	殺につながる因子、リスクを抱えた方等を把握することによって、自殺防止の支援へとつなげていくことができる可能性を含んでいる。	
--	--	-------------------------	---	--

## 【資料2】 出水市自殺対策計画策定経過

平成30年	7月 2日	こころの健康に関するアンケート調査実施
	～ 9月11日	
平成30年	8月21日	平成30年度第1回いのち支えるプロジェクト会議
平成31年	2月～3月	事業棚卸し実施
令和 元年	5月16日	令和元年度第1回いのち支えるプロジェクト会議
令和 元年	6月 4日	令和元年度第2回いのち支えるプロジェクト会議
令和 元年	6月27日	第1回自殺対策計画検討委員会
令和 元年	7月18日	令和元年第3回いのち支えるプロジェクト会議
令和 元年	7月29日	第2回自殺対策計画検討委員会
令和 元年	8月30日	第3回自殺対策計画検討委員会
令和 元年	10月10日	政策審議会
令和 元年	10月18日	パブリックコメントの実施
	～ 11月18日	
令和 元年	11月22日	第4回自殺対策計画検討委員会
令和 2年	2月 4日	政策会議

【資料3】 出水市自殺対策計画検討委員会名簿

	所 属	役 職	
1	出水郡医師会（医師）	理事	馬 場 口 泰 宏
2	出水郡医師会（精神科医）	出水病院副院長	鹿 井 博 文
3	出水郡歯科医師会	会長	児 島 正 明
4	出水郡薬剤師会	会長	徳 本 由 道
5	公立病院代表	健康管理科部長	宗 清 正 紀
6	北薩地域振興局保健福祉環境部 出水支所出水保健所	北薩地域振興局保健福祉環 境部出水支所長兼出水保健 所所長	揚 松 龍 治
7	鹿児島県歯科衛生士会 出水支部	歯科衛生士	野 付 佐 代 子
8	出水郡栄養士会	会長	鈴 木 久 代
9	市内公立学校の養護教諭 代表部会	江内中学校 養護教諭	七 條 幸 子
10	自治会連合会	副会長	塘 明 治
11	食生活改善推進員協議会	理事	上 園 美 代 子
12	出水地区保育連合会	わかたけ保育園園長	池 田 真 吾
13	民生委員児童委員協議会連合会	理事	山 下 義 博
14	出水市スポーツ推進協議会	副会長	諏 訪 泰 三
15	出水警察署	生活安全刑事課長代理	持 留 國 隆
16	出水市消防本部	警防課長	川 曲 徹
17	地域活動支援センター「集」	センター長	笹 原 利 恵
18	出水商工会議所	常議員	吉 原 慎 一
19	出水市飲食業組合	組合長	迫 田 小 百 美
20	ハローワークいずみ	所長	岩 下 正 人

【資料 4】 出水市いのち支えるプロジェクトチーム名簿

No.	職 名	氏 名
1	福祉課福祉総務係長	永 山 修
2	福祉課障害福祉係長	内 田 直 人
3	福祉課保護係長	餅 原 秀 夫
4	いきいき長寿課介護保険係長	松 本 修 一
5	いきいき長寿課高齢者支援係長	野 間 口 淳
6	いきいき長寿課地域包括ケア推進係長	小 田 原 由 美
7	こども課こども福祉係長	中 里 豊
8	こども課子育て支援室次長	澤 邊 憲 子
9	生活環境課生活環境係長	中 園 健 二
10	市民生活課健康保険係長	長 谷 川 健
11	市民生活課住民年金係長	森 山 佐 知
12	税務課収納管理係長	松 浦 泰 博
13	総務課職員係長	阿 多 広 隆
14	安全安心推進課安全安心推進係長	平 原 義 浩
15	企画政策課総合政策係長	青 崎 讓 二
16	シティセールス課産業支援係長	堀 昌 伸
17	農政課農政畜産係長	石 原 光 徳
18	学校教育課参事	吉 元 利 裕
19	生涯学習課生涯学習係長	岩 本 秀 一
20	市民体育課体育振興係長	外 戸 口 省 太
21	住宅課公営住宅係長	黒 木 勝 善
22	水道課業務係長	小 塚 浩 文
23	出水総合医療センター地域医療連携係長	本 蔵 信 子
24	出水消防本部警防課警防係長	戸 崎 博 貴
25	総合市民課市民福祉グループ長	新 富 重 美
26	総合市民課市民福祉グループ長	神 崎 洋 子
27	健康増進課保健予防係長	前 平 和 博
28	健康増進課母子保健係長	本 村 頼 子
29	健康増進課成人保健係長	園 畠 好 子